

ウェルネ特集1 「骨盤と健康」

「骨盤」と健康のかかわりを探る

妊婦さんの場合は赤ちゃんを守るという大切な役割も担っています。
骨盤はゆがむのですか?

「骨盤矯正」や「骨盤ダイエット」が話題です。今回は骨盤と健康の関わりや骨盤矯正の考え方、日常生活での注意点などについて、整体師の源祥晴先生にお伺いしました。

Interview ::



あべの整体サロン
院長 整体師
源 祥晴 先生

「骨盤のゆがみ」からさまざまな症状が

——まず骨盤の役割について教えてください。

骨盤は、大きく分けると左右の「寛骨」と、真ん中の「仙骨」という3つのパートで構成されています。骨盤の大きな役割は上半身の「受け皿」として体の重みを支え、バランスをとること。また、骨盤内の内臓を保護する役目も持っています。骨盤が守っている臓器としては、大腸や膀胱のほか女性の子宫や卵巢があり、もちろん



骨盤が開くと内臓が下がってきて、その結果、内臓の機能低下を引き起こします。また、逆に閉じるこれも内臓を圧迫して結果機能低下に繋がります。骨盤が左右前後にずれる場合は、結果、背骨が全体的に捻られて、肩こり、腰痛の原因になります。

——ゆがむはじめるのどうじか?

骨盤が開くと内臓が下がってきて、その結果、内臓の機能低下を引き起こします。また、逆に閉じるこれも内臓を圧迫して結果機能低下に繋がります。骨盤が左右前後にずれる場合は、結果、背骨が全体的に捻られて、肩こり、腰痛の原因になります。

筋肉の異常収縮が骨をゆがませる

——骨盤はなぜゆがむのでしょうか?

直接的な原因は腰の筋肉の異常収縮であってもほとんどの場合、根本的原因はそこにはないのです。腰の筋肉を収縮させる原因が他にあるため、腰回りをいくら揉んでも緊張はそれなことが多いのです。

——どうから緊張が来るのですか?

たとえば、人間の骨格は左右対称にできていますが、ほとんどの人は右利きですから、右半身に凝りが蓄積されやすいのです。特に疲労が溜まりやすいのが右腕です。腕の筋肉の疲労が肩の筋肉を引っ張り、肩の凝りを起こし、それが腰に連動して最終的に骨盤をゆがませている場合がよくあります。そういうときは、まず腕や

後ろに倒れると腰に過度の重みがかかり腰痛につながり、逆に前に反ると背骨に過度の重みがかかるため椎間板ヘルニアなどになりやすいです。

- 食べ物を片方で噛む。
- 片方の足ばかりを上にして組む癖がある。
- 腰を片方にばかり、捻る癖や仕事をしている。
- 猫背である。
- 片足で立つ癖がある。
- 手足が、冷えやすい。
- 何もないのによくつまづく。



自分には関係ないと思っていても、たいていの人は骨盤に何らかのゆがみが生じています。特に女性の骨盤は男性に比べて浅く、広いので、余計にゆがみやすいのです。

骨盤のゆがみチェック

- 食べ物を片方で噛む。
- 片方の足ばかりを上にして組む癖がある。
- 腰を片方にばかり、捻る癖や仕事をしている。
- 猫背である。
- 片足で立つ癖がある。
- 手足が、冷えやすい。
- 何もないのによくつまづく。

ウェルネ特集1 「骨盤と健康」

肩の凝りをとつて引っ張る力を弱めることが、少しづつ腰周りの筋肉収縮を弱め、ねじれやゆがみを小さくしていくことになります。

骨盤のゆがみには、このように体の片側だけよく使うことのほか、さまざまな生活習慣や食習慣、精神的ストレスも影響します。いずれにせよ、最終結果である骨だけを考えるのではなく、ゆがみを生じさせている原因を突き止め、根本原因から取り除くことが重要だというのが、私の基本的な考え方です。

日常生活での注意点

——骨盤をゆがませないためには?
まず、できるだけ「左右対称」を意識することが大切です。

たとえば立つときは両足に均等に体重が乗るように。どちらか片足に体重をかけると、バランスを取りうとして片側の筋肉が収縮し、疲労が起ってきます。つまりに体重がかかるハイヒールもお勧めできません。つま先重心になると骨盤が反り、O脚の原因にもなります。ふだんからできるだけスニーカーを履き、かかとから着地することを意識して歩くようになります。ふだんからできるだけスニーカーを履き、かかとから着地することを意識して歩くようになります。

たとえば立つときは両足に均等に体重が乗るように。どちらか片足に体重をかけると、バランスが悪くなります。その場合も筋肉にかかるだけ負担をかけないよう、腰を丸めず、左右のお尻に均等に体重を乗せるなどを意識します。当然、足は組まない。椅子の高さはひざの角度が90度に曲がるくらい。これより低すぎても高すぎても、骨盤に負担がかかってきます。

たとえば立つときは両足に均等に体重が乗るように。どちらか片足に体重をかけると、バランスを過度に圧迫します。

妻は床には座つづ椅子に座る。



「根本原因」があります。

——ありがとうございました。

体全体のバランスが大切

——体操はどうぞ。

ゆがみの予防は、骨盤を前後から支える筋肉を鍛える事も重要です。骨盤の前面を支える「腸骨筋」「大腰筋」は、大きく足を「八の字に広げた」スクワット、後面を支える「大臀筋」はうつぶせで足を棒状に真っ直ぐにして片足ずつ引き上げる運動が必要です。これらを毎日繰り返すと、骨盤が安定し、ヒップアップにも繋がります。

また、骨盤のゆがみには、「内臓の疲れ」も関係します。例えば、肝臓は右半身の筋肉と密接に関係しており、お酒やタバコを摂取すると、右半身のコリが

誘発されます。結果、左右の筋肉の引っ張り合いが、右側が有利になります、バランスを壊し、大きなゆがみへと導かれるのです。

——最近話題の「骨盤タイト」とは?

骨盤のゆがみを矯正する事で短期的には、腰やお尻周りのサイドダウンに繋がります。また、長期的にはダイエットにも繋がります。とにかく美しいスタイルは、健康を乗り越えたものなので、骨盤を矯正する事で代謝を上げ、今以上に健康になる事が必要なのです。

骨盤のゆがみは、あくまで「結果」です。そして、それを引き起こすものは筋肉の異常収縮です。その筋肉を硬くする原因はさまざまなのです。そこに本当の意味での

あべの整体サロン



〒545-0012

大阪府大阪市阿倍野区
桃ヶ池町2-13-12

|女性専用 完全予約制
TEL:06-6625-5861
(予約専用ダイヤル)

|定休日:月・火・祝日 | 営業時間:10時~19時
(土・日営業)

URL <http://www.abenoku.com/>